

ミスミグループ本社 2020年3月期 連結業績

～世界貿易不況の継続等により製造業の設備投資・稼働が低迷、
グローバル确实短納期強化に向けたモデル革新は継続～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	331,936	313,337	-5.6%
のれん等償却前 営業利益 ※	32,490	24,247	-25.4%
営業利益	31,874	23,640	-25.8%
純利益	24,034	16,504	-31.3%
1株当たり純利益	84.80円	58.18円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

<2020年3月期の連結業績ハイライト>

1. 連結売上高 前期比 5.6%減収、モデル革新に不可欠な投資はテーマを厳選した上で実行

- 当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化に伴い製造業の設備投資や稼働の低迷が続いたことに加え、年度末にかけて新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、総じて厳しい状況となりました。主要国における自動車関連の需要低迷なども継続し、日本においては生産用機器の輸出が減少するなどの影響も見られました。
- こうした環境の中においても、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業に貢献しています。今期も、世界で加速する「デジタルものづくり」の進化に向けた事業モデルの革新に継続的に取り組み、ITや物流基盤の強化への投資は内容を厳選した上で継続しました。また、年度末にかけて新型コロナウイルスの影響で中国生産拠点の稼働が一時停止した際には、同一商品を生産する日本やベトナムなどのグローバル拠点網を活用し、安定供給を継続することで顧客の短納期ニーズに対応しました。しかしながら売上高、利益ともに製造業の設備投資需要や稼働の低迷が継続したことなどにより、前年比減少となりました。
- この結果、連結売上高は3,133億円、前年同期比で5.6%（現地通貨ベース3.9%）の減収となりました。利益面につきましては、売上減による収益の減少、および持続成長に不可欠な先行投資を厳選した上で継続したことなどにより、営業利益は236億円（前年同期比25.8%減）、経常利益は232億円（前年同期比26.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は165億円（前年同期比31.3%減）となりました。

2. 製造業の需要低迷が継続し各セグメントで減収

- 2020年3月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期	2020年3月期	円ベース	現地通貨ベース
F A事業	109,230	99,403	-9.0%	-7.2%
金型部品事業	76,443	72,413	-5.3%	-3.0%
VONA事業	146,262	141,519	-3.2%	-1.9%
合計	331,936	313,337	-5.6%	-3.9%

- F A事業は、米州を除く主要地域、とりわけ日本の設備投資需要や稼働の低迷が続いたことにより、前年同期比9.0%の減収となりました。
- 金型部品事業は、東南アジアにおける販売活動は概ね堅調だったものの、その他の地域では自動車関連の市況低迷が続き、前年同期比5.3%の減収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化や積極的な販売拡大施策により、米州、東南アジア、欧州では売上が伸長したものの日本と中国の減速を補えず、前年同期比3.2%の減収となりました。

3. 米州はVONA拡販等により前年並みを確保、他地域はマイナス成長

- 2020年3月期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期	2020年3月期	円ベース	現地通貨ベース
日本	176,127	168,331	-4.4%	—
海外	155,809	145,006	-6.9%	-3.3%
中国	56,837	50,406	-11.3%	-6.4%
アジア	47,849	44,872	-6.2%	-3.3%
アメリカ	28,236	28,001	-0.8%	+0.6%
ヨーロッパ	17,255	15,999	-7.3%	-1.7%
その他	5,630	5,724	+1.7%	+4.1%

- 日本では、F A・VONAの品揃え強化などに取り組みましたが、製造業の設備投資や稼働が低迷した影響で前年同期比4.4%の減収となりました。
- 海外では、米州でVONA展開拡大により自動車業界の低迷影響などをカバーしたものの、他地域はマイナス成長となり、前年同期比6.9%の減収、現地通貨ベースでは3.3%の減収となりました。

4. 年間配当金は14.55円の予定

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、2012年3月期下期より配当性向を25%としており、2020年3月期につきましても、この基準を引き続き維持する方針です。

- 2020年3月期の業績実績により、期末配当金は7円04銭（前年比3円95銭減）を予定しております。これにより、年間配当金は第2四半期末の7円51銭と合わせ、14円55銭（前年比6円65銭減）となる予定です。

	年間配当金					
	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	—	—	10.22	25.0%	17.73	25.0%
当期実績	7.51	25.0%	7.04	25.0%	14.55	25.0%
前期実績	10.21	25.0%	10.99	25.0%	21.20	25.0%

5. 2021年3月期連結業績予想は現時点で未定

- 2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスの感染拡大が製造業の設備投資需要や顧客の稼働に与える影響を精査する必要があり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定とします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示します。

2020年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 コーポレート・リレーション室 IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7014 mail : cc@misumi.co.jp</p>
